

5. 特色ある活動事例紹介

地域の安全安心を守るため、地域を元気にするため、また住民同士の絆を強めるため、各自治会（町内会）の皆さんには、様々な活動に取り組んでいただいています。

平塚市では、令和元年度から、様々な主体による地域課題（まちの困り事）解決を目的とした活動を「平塚市みんなのまちづくり事例表彰」として表彰する制度を始めました。

令和元年度、令和2年度の「平塚市みんなのまちづくり事例表彰」において、年間大賞を受賞した5つの自治会の取組を紹介します。

1. 日向岡自治会 【キャラクターを活用した地域の活性化】



日向岡自治会のキャラクター「ひなボン」を活用して、住民の参加意識を向上し、少子高齢化、役員の担い手不足などの課題を解決し、他地域との繋がりもつくり、地域への誇りを持てるようにしています。1つの自治会で、キャラクター、着ぐるみを作るのは珍しく、地域内の繋がりや、平塚市全体での盛り上がりまで視野に入れたユニークな発想で、今後の更なる広がりが期待できます。（令和元年度年間大賞）



平塚市みんなのまちづくり事例表彰とは

近年、市民のニーズが多様化・複雑化する中で、自治会（町内会）をはじめとする地域団体のほか、多くの市民活動団体や事業者、教育機関などが地域課題解決の担い手として活躍しています。協働推進課では、平塚市協働のまちづくり基金を活用し、様々な主体による地域課題解決を目的とした活動を表彰しています。表彰を通じて様々な活動を広く皆さんに知っていただくとともに、より多くの団体の活動意欲を高めることをねらいとしています。

2. 須賀新田自治会 【小学生通学路の安全対策】



須賀新田自治会エリアの道路は狭く、抜け道としても利用されるため、朝の通勤時間の交通量が多く、小学生や、ゴミ出し時の高齢者などが交通事故にあう危険性があります。自治会独自の交通量調査に加え、通学の見守り活動や各種団体による年2回の交通安全キャンペーンにより運転手に交通安全の呼びかけをしています。地道な活動により、小学生の交通安全の意識向上や、挨拶の励行に寄与し、小学生の保護者の関心も向上しました。また、運転手のスピード減速も浸透してきています。（令和元年度年間大賞）

3. 撫子原自治会 【災害時住民が助け合える絆づくり】



撫子原自治会のエリアは海岸及び金目川に面する地域で、津波や、河川氾濫、地盤が弱いなど災害時に大きな被害が起きる可能性が高いため、子どもから高齢者までお互いに助け合える絆づくりを目的とした様々な事業を実施しています。絆づくりを通して、住民同士の顔が見える関係ができ、「貴方が逃げるなら私も逃げる」と考える住民が少しずつ増えています。（令和元年度年間大賞）

4. 明石町会 【町内会からの情報伝達 ～紙回覧と動画とのリンク～】



明石町会では、コロナの影響で自由に外出できない時期に、町内発行のA4の回覧「明石だより」に動画等のQRコードを貼り付け、スマホ等で楽しめる様にしました。

また、ちいき情報局崇善地区と明石町のHPのQRコードも貼り付けているので、地区や町内の情報を見たい時に見る事が出来るようになりました。

WEBを活用した新しい事例であり、他の地域への参考になります。コロナ禍でも工夫して、地域のつながりを持ち続けています。（令和2年度年間大賞）

5. 宮松町自治会 【ペガサス就職塾がコラボした回覧板業務】



「回覧板などをセッティングして、ポスティングする業務を委託したい。」と考える宮松町自治会と「発達特性のある子どもたちに就労体験をさせたい」と思っていたペガサス就職塾をNPO法人しえんのまなび舎がつなぎ、コラボした企画で、自治会が印刷した回覧板の資料を子どもたちが班ごとにセットし、各班長さん宅にポスティングします。

他団体が業務を分担して行うことは、自治会の負担軽減につながる先駆性のある取組であり、他の自治会、団体のモデル事例となります。（令和2年度年間大賞）



自治会長(町内会長)ハンドブック

【発行年月】 令和4年4月改訂

【発行者】 平塚市自治会連絡協議会

【編集】 自治会長(町内会長)ハンドブック改訂作業部
会

◆ 問合せ先◆ 平塚市 市民部 協働推進課
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号
TEL : 0463(21)9618 FAX : 0463(21)9756